

提出日:2013年2月28日

## クルーズサマリー

### 1. 航海情報

- 航海番号  
NT12-21
- 船舶名  
海洋調査船「なつしま」
- 航海名称  
第14回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」体験乗船
- 首席研究者 [所属機関名]  
満澤巨彦(海洋研究開発機構)
- 課題代表研究者[所属機関名]  
満澤巨彦(海洋研究開発機構)
- 航海期間  
平成24年8月15日(水)～平成24年8月19日(日)までの計5日間  
体験乗船: 1班 8月16日(木)  
2班 8月17日(金)  
3班 8月18日(土)
- 出港地～寄港地～帰港地の情報  
JAMSTEC 横須賀～清水～JAMSTEC 横須賀
- 調査海域名  
駿河湾

### 2. 実施内容

#### ● 調査概要

海洋に夢を持つ子供たちの啓発および教育を目的に、第14回全国児童「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」の特典として、入賞者の児童たちが海洋調査の現場を見学、体験する場を設けた。本航海では、「なつしま」および「ハイパードルフィン」による作業を実施した。

体験乗船実施日3日間を通して、なつしま、ハイパードルフィンの運航を含め計画通り順調に行うことができた。ハイパードルフィンによる深海の観察では、濁りはあったものの、ユメナマコやナマコ、設置したエサ(サバ)に食らいつくサメなどを観察することができた。実験では、入賞者から事前に提案された実験アイデアとして、深海でのゴムの伸び縮みを確認するためのゴムひもを用いたボールとばしや釣りを実施したり、発泡スチロールやピンポン玉など様々なものの水圧による変化を確認した。また、

深海へ持っていったコーラやスイカなどを少量試飲・試食し、常圧のものとの味の違いをみた。ハイパードルフィンの体験操縦は、「むずかしい」と言いながらも一生懸命コントローラーを動かしていた。

若干南からのうねりが入っており、船酔いなどで不調をうったえる人が16日は1名(児童)、17日は2名(児童)、18日は1名(保護者)発生したが、その都度、適宜休んで元気になったら参加するなどの形をとった。

「なつしま」乗組員やHPDチームの方が大変温あたたかく迎えてくださり、入賞者および保護者ともに楽しそうであった。「海洋調査の現場を見学、体験してもらい、深海を含め海洋科学技術にさらに興味を持ってもらう」という目的を達成することができた。